

熱帯の高地でサルナシは育つか(タイ・チェンマイ)

ー ロイヤルプロジェクトでの試み ー

様々な山岳少数民族が暮らすタイの北部山岳地帯では、ケシ栽培に代わる換金作物として、温帯の果物や野菜、花などの導入が、国王の主導で行われてきました。

キウイフルーツもそのひとつですが、冬期に気温が低下する期間が短いため、これまで栽培できる品種は限られていました。カセサート大学の故スラナン教授を通じて、ロイヤルプロジェクトに協力し、低温要求性の低い品種を試作し、安定して生産できる品種を選ぶことができました。

そこで、果皮が柔らかく丸ごと食べられ、糖度が高く、ビタミンC含量も多いサルナシにチャレンジすることに。冷涼地に自生するサルナシは、かなりハードルが高いだろうとの予想に反して、しっかりと枝葉を伸ばし、花が着きました。

亜熱帯高地でのサルナシのパフォーマンスは、学術的にも面白いテーマになりそうです。

二〇〇九年八月二十六日

